

GT9-X アクチグラフリンク



ACSMスタンダード、高性能加速度計
時計表示可能でコンプライアンス向上

ディスプレイに歩数、カロリー消費の表示ができるようになりました

オープンソースアルゴリズム

搭載3次元加速度計はその信頼性をアメリカ体力医学会ACSMで広く使用されている、GT3Xシリーズと同じものを使用。日本国内の活動量測定データを、簡単に世界レベルの研究結果データにすることができま

Energy expenditure(エネルギー消費)

体動によるエネルギー消費(PAEE)を5つの異なるアルゴリズム(FreedsonVM3、Freedson Combination等)でkcalを算出します。

Cut points(カットポイント)

ACSMで定められたアクティビティカットポイントを使用して、体動レベルを解析できます。任意のカットポイントの作成も可能です。

Sedentary analysis(セダンタリー解析)

被験者のセダンタリー行動区間データにより、低体動の頻度、継続性を簡単に算出できます。

IMUセンサー

ジャイロセンサー、磁気センサー、温度センサー、3次元加速度データをとることができます。※2

※アクチグラフリンクGT9Xは、アクチライフソフト6.11.5以降でないと使用できません。

※2 IMUをONにすると測定時間が短くなります(2日程度)。

※3 加速度が発生しない状態だと精度が悪くなることが報告されています。



アクチグラフリンクスペック

加速度センサー	3軸ソリッドステート
解像度	0.05G
加速度計レンジ	±8G
サンプリングレート	30~100Hz(10Hz刻み)
バッテリー寿命	14日(LCD off)
防水仕様	IPX7(水深1mに30分間)
本体寸法、重量	35mm×35mm×10mm、14g
データ容量	180日・4GB

METs rates(METs解析)

エポックごと(最少1秒)、時間ごと、日ごとのMETsを使用環境や被験者の状況に応じて12の異なる文献で発表しているアルゴリズムを基にMETsを算出することができます。

Activity bouts(活動区間解析)

Sedentary, MVPA等の特定の体動レベルがある区間の時間(10分以上の継続のみ)や頻度、時間の長さの平均値などを求めることができます。

Inclinometer(体位解析)

被験者が立位、座位、横に寝そべっている状態がわかります。器械が外されていてもわかるので、その区間を平均値の計算から外したりするのに役に立ちます。※3

Wear Time Validation(非装着自動判定)

非装着区間を2つのアルゴリズムで自動判定できます。非装着と判断された時間帯を平均値から外すフィルター機能も使用できます。

輸入・総販売元

アクチ・ジャパン株式会社

〒273-0113 千葉県鎌ヶ谷市道野辺中央1-4-48-2

電話:047-494-9313 ファックス:047-446-7461

email: kondohayato70@gmail.com